

高校生と語る「POLITICAL ワークショップ」開催

5月21日、はじめて高校生との意見交換会。なごやかな雰囲気の中、高校生からは、をいただき、議員一同、まちの将来を心強く感じました。また、事後のアンケート激的で有意義な時間を共有できたのではないかと感じています。いただいた意見・提
 県立の学校ということから、高校は議会とは余り接点がありませんでしたが、生徒
 解頂き、ご協力頂きました。感謝申し上げます。
 意見等をいただいた高校生 石部高等学校生徒有志10名、甲西高等学校生徒有志

若い世代の視点から、まちづくりに対する熱心で鋭い意見・提言でも熱い感想が多く寄せられました。高校生、議員双方が、発言は、今後の議会活動に活かしていきます。
 の主権者教育や、まちづくりへの参加の必要性を積極的にご理
 11名

- テーマ**
- 18才選挙権と政治について。
 - 災害に強いまちづくりについて。
 - 湖南市に望むこと、おもうこと。

●湖南市に望むこと、思うこと

〈公共交通政策〉

- ・JRの発着時刻とコミュニティバスのスムーズな乗り継ぎ運行。
- ・コミュニティバス利用に「学割」を設置。
- ・通学時間帯のJRの運行本数を増やしてほしい。
- ・コミュニティバスの運行本数を増やしてほしい。

〈安全政策〉

- ・街路灯をつけてほしい通学路がある。
- ・旧東海道の交通量が多く登校時危険なので通行車両の規制をしてほしい。
- ・旧国道一号を横切る地下道の照明を明るくして欲しい。
- ・信号機をつけてほしい通学路がある。
- ・石部駅構内の階段を直してほしい。(危険)
- ・道路整備をしてほしい。

〈産業政策〉

- ・お店を増やして欲しい(飲食店の復活等、高校生が立ち寄れる店の増)。
- ・「ギャンブル依存症」の懸念も含めて、パチンコ店ばかりのまちに見える。



おたがみ
 付箋に自分の意見を書きだし、グループで共有している様子



グループに分かれての意見交換会

●災害に強いまちづくりについて

- ・学校の避難訓練を地域の人と一緒にすべき。
- ・善意のボランティアではなく、業者など有償で対応してもらうことが必要では。
- ・市外の人にも分かり易い「防災マップ」が欲しい。(避難場所、避難通路等)。
- ・高校生が防災マップを作る。大人と高校生との目線では、高校生が危険だと思う場所に違いがあると思う。
- ・災害に実感はないが、もし起こったらボランティア活動に参加したい。



高校生がグループでまとめた意見を議場で発表している様子

●18歳選挙権と政治について

- ・高校の授業で政治について学ぶ。学んだことをすぐに活用できるので18歳でもよいと思う。
- ・小・中・高校での選挙・主権者教育を充実すべきだと思う。
- ・ITを駆使して、選挙公報・投票ができれば、投票率は上がると思う。
- ・政治内容や言葉を簡単にして、PVでSNSに投稿するとよい。
- ・学校やスーパー等にも投票所を設置しては。

